

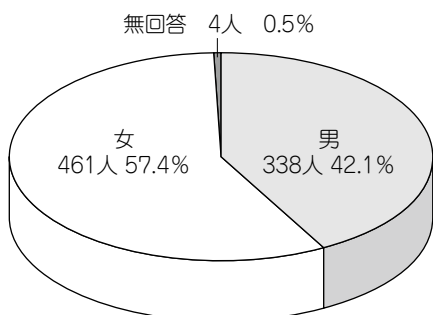
第23回 市政に関する 世論調査結果報告

秘書課広報広聴係 ☎(63)2128

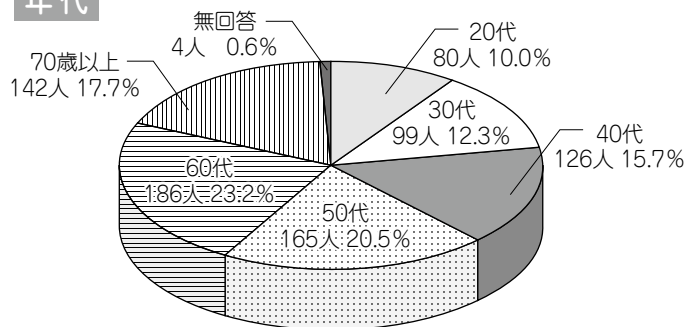
昨年10月に実施した「市政に関する世論調査」の主な結果をお知らせします。今回の調査では、暮らしの変化や市政に対する現状評価、環境行政など9項目について調査しました。この結果は、今後の市政運営に生かしていきます。多くの方にご協力をいただき、ありがとうございました。

回答者の構成

性別



年代



調査の目的

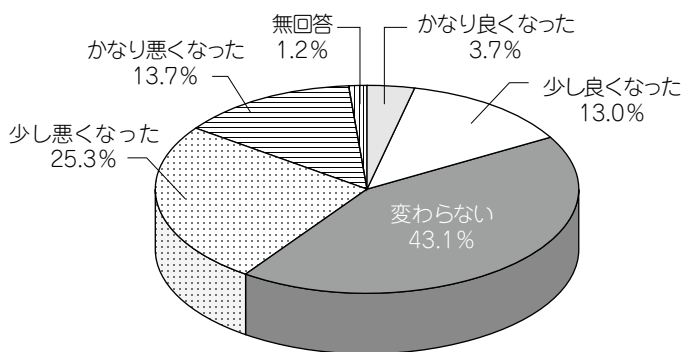
市民が市政についてどのように考え、また何を望んでいるのかを統計的に把握し、市政運営の基礎資料とするために2年に1度実施しています。

調査の概要

調査地域	鹿沼市全域
調査対象	平成23年8月1日現在、鹿沼市に居住する満20歳以上80歳未満の男女2,000人
抽出方法	住民基本台帳から等間隔無作為抽出
調査期間	平成23年10月1日～10日
調査方法	郵送
回収結果	回収数 803人 回収率 40.2%

暮らしの変化

あなたの暮らし向きや生活環境は、この2、3年の間にどう変わりましたか？



「悪くなった」が39.0%をしめ、「良くなった」の16.7%を大きく上回りました。前回の調査（平成21年度）と比べると、「悪くなった」が8.0ポイント減少し、「良くなった」が1.7ポイント増加しました。

年代別では、40代以上では、「悪くなった」が40%以上になり、ほかの年代より高くなっています。

良くなったところ（上位5項目）

※複数回答可

通勤や買い物の便利さ	44.0%
道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ	36.6%
ごみ収集や処理の状況	31.3%
道路や通学路の安全性	24.6%
家計の状態	21.6%

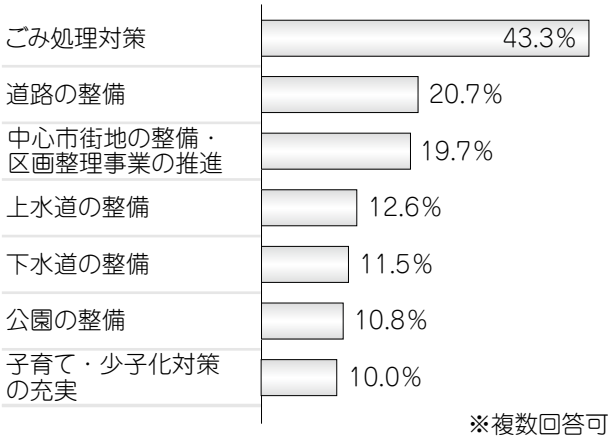
悪くなったところ（上位5項目）

※複数回答可

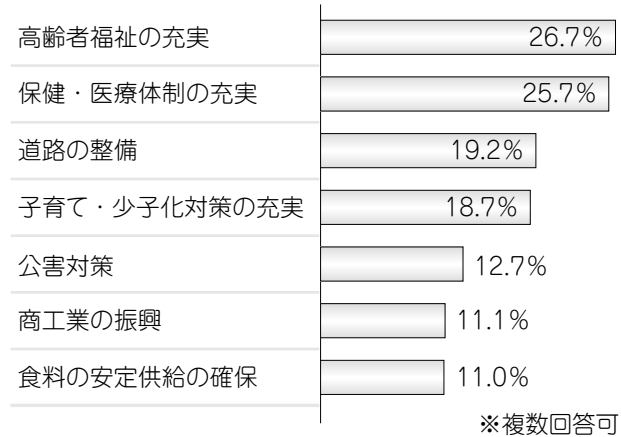
家計の状態	85.0%
通勤や買い物の便利さ	18.5%
道路や通学路の安全性	15.3%
近所の風紀	15.0%
商品の品質や安全性	10.2%

市政の現状評価

市政で充実していると思うものは？
(上位7項目)



今後、特に力を入れてほしいものは？
(上位7項目)

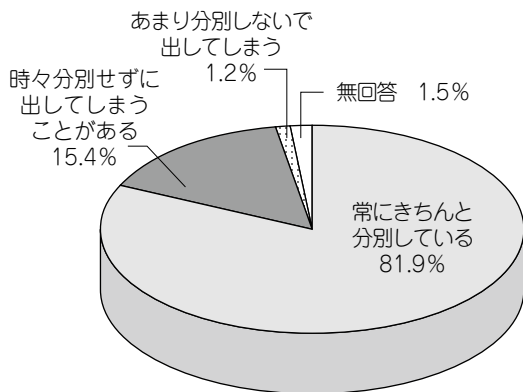


市の取り組みについての満足度を調査しました。「ごみ処理対策」、「道路の整備」、「中心市街地の整備・区画整理事業の推進」と、ハード事業への評価が高くなっています。20代では「観光の振興」への評価が他の年代より高くなっています。上位3項目は、前回調査と変わらない結果になりました。

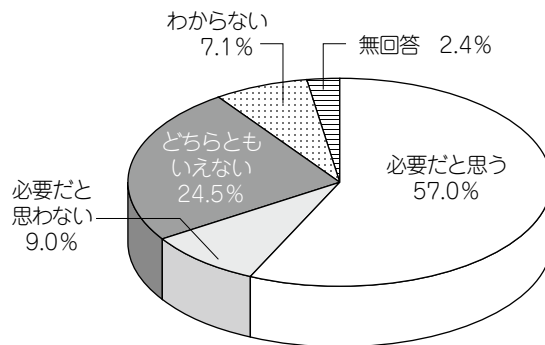
「高齢者福祉の充実」、「保健・医療体制の充実」など、ソフト事業の充実を求める声が多くなりました。年代別に見ると、20代と30代では、「子育て・少子化対策の充実」、30代と40代では「学校教育の充実」、70歳以上では「高齢者福祉の充実」の割合が高く、それぞれの年代により違いがみられました。

環境行政について

ごみの分別を行っていますか？



新エネルギー設備の設置に対して、市の補助制度は必要ですか？



ごみの分別の実施状況について、「常にきちんと分別している」と回答した人の割合は81.9%と高くなっています。

年代別では、「常にきちんと分別している」の割合は60代が89.2%で最も高く、年齢が高くなるにつれ、「常にきちんと分別している」の割合が高くなる傾向がみられます。

新エネルギー設備設置に対する市の補助制度が必要かについては、「必要だと思う」の割合が57.0%で、「思わない」の割合9.0%を大きく上回りました。

年代別では、30代では「必要だと思う」の割合が70.7%と他の年代に比べて高く、年齢が低くなるにつれて「必要だと思う」の割合が高くなる傾向がみられます。

調査したそのほかの項目

- ・ 広報活動について
- ・ 行政改革の推進について
- ・ 市役所窓口サービスについて
- ・ 鹿沼市の観光について
- ・ 人権行政について
- ・ 消防団について

詳細な調査報告書は、市政情報コーナーや、市ホームページなどをご覧ください。